

令和8年6月16日

保護者様

横浜市立神奈川小学校

校長 足立 渉

プライベートゾーンの学習について

日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、現代の子どもたちは、性についての情報が氾濫し、性犯罪が低年齢化する社会の中で、自らが性犯罪に巻き込まれうる時代に生きています。また、子どもたちは深く考えずに友達のプライベートゾーンをさわったり見たり、その反対に、さわらせたり見せたりすることがあります。

児童指導の一環として、水泳学習が始まるこの時期に、子どもたちが性に対する正しい知識と人権意識をもち、自分や友達を大切にすることを目指してプライベートゾーンについて学習します。

学校で学習することをきっかけに、ご家庭でも自分や友達を大切にすることや自分を守ることにについて話題にしてくださいと幸いです。なお、学習をするにあたって、配慮が必要な場合は、担任に事前にお伝えいただくよう、よろしくお願いいたします。

○学習のねらい

- ・プライベートゾーンは、自分だけの大切な場所であることを知る。
- ・プライベートゾーンは、自分にも友達にもあることを知り、自分や相手を大切にできるようにする。
- ・自分のからだを自分で守ったり、困ったことについて大人に伝えたりすることの大切さを知る。

○学習の内容

- ・自分の体は大切に、特に大切な部分を「プライベートゾーン」という。(水着でかくれるところと口)
- ・「プライベートゾーン」のやくそく

- ① 自分のプライベートゾーンを見せたりさわらせたりしない。
- ② 人前でプライベートゾーンはさわらない。
- ③ 他の人のプライベートゾーンを見たり、さわろうとしたりしない。

- ・やくそくを守っていない人から、大切な体を守るために

- ① 声を出す。(いやだ・やめと伝える)
- ② その場から離れる、逃げる。
- ③ 信頼できる大人に相談する。

